

情報活用能力やプログラミング的思考を育み、地域産業をはじめ高度情報化社会の発展を担うスペシャリストとして活用できる資質と能力を身に付ける。



NEW
情報ネットワーク科
定員40名
平成30年4月スタート

IoT(モノのインターネット)の普及やAI(人工知能)の進化等の情報技術の急激な進展に対応し、社会生活においてICT(情報通信技術)を日常的に活用する能力を育む

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1年	国語総合				世界史A		数学I			体育		保健		音楽/書道		英語I コミュニケーション		ビジネス基礎		簿記		情報処理		プログラミング		総合学習		LHR				
2年	国語総合		現代社会		数学A		科学と人間生活		体育		保健		英語II コミュニケーション		英語表現I		家庭基礎		課題研究		選択I		情報通信概論		情報処理		プログラミング		総合学習		LHR	
3年	現代文B		地理A 日本史A		数学総合			生物基礎			体育		英語II コミュニケーション		課題研究		選択II		ビジネス情報		情報管理		ビジネス		応用プログラミング演習		総合学習		LHR			

※注意 (数学総合)(情報通信概論)(応用プログラミング演習)は学校設定科目
 ※各学科共通教科「情報」科目「社会と情報」は、専門教科「商業」科目「情報処理」で代替
 選択I(2年次)「マーケティング」「財務会計I」から1科目を選択する
 選択II(3年次)「経済活動と法」「電子商取引」「英語表現II」から1科目を選択する

ビジネスに必要なネットワーク関連の充実した授業

プログラミングやシステム開発、情報通信ネットワークの構築・運用管理とセキュリティに関する知識と技術に関する学習を行います。

外部講師による様々な実習活動

県内企業や上級学校から専門の講師を招き、スマホ用アプリ開発やロボット製作等の実習を中心とした体験的学習を通じて、実践力を身に付けます。

プレゼンテーション活動の充実

授業で取り組んだシステム設計や作品制作についてプレゼンテーションを行い、企画・提案に必要なコミュニケーション能力を育みます。

取得できる
資 格

IPA情報処理技術者試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験
 全国商業高等学校協会主催情報処理検定1~3級 (ビジネス情報部門 プログラミング部門)
 プログラミング能力認定試験